

専大スポーツ

No. 278

大会結果、予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)でご確認ください
専大スポーツweb (http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

レスリング・アジア選手権

フリー 120kg級 荒木田が銅メダル



表彰台でメダルを受ける荒木田

敗者復活戦から快進撃

アジア・レスリング選 位入賞を果たした。手権がタイ・パタヤで5月2日から7日まで行われ、フリースタイル120kg級で荒木田進謙(経済4・光星学院高)が3の力を発揮し、イラクの

選手をタックルで圧倒し2-0で勝利。3位決定戦では、中国の選手に第

1ピリオドでフォール勝ちを収め、銅メダルを獲得した。帰国した荒木田は、「今回はあまり思うように練習できなかったが、3位

に入賞することができてほっとしている。もうすぐリーグ戦があるので、チームが優勝できるように貢献したい」と語った。

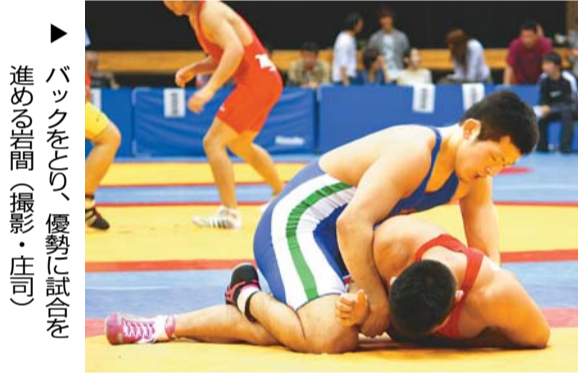
グレコ84kg級 岩間が優勝

「世界ジュニア」の出場権獲得

レスリングのJOC杯ジュニアオリンピックカップが4月25、26の両日、神奈川県横浜文化体育館で行われ、グレコローマンスタイル84kg級で岩間奨平(商3・鳥取中央育英高)が優勝を果たした。この結果、8月の世界ジュニア選手権の出場権を獲得した。

2回戦から出場した岩間は順当に勝ち上がり、決勝戦に駒を進めた。決勝戦も、第2ピリオドで相手が隙を見せた際に確実にポイントを取った。2

「出場できなくて学年が一番上だったので、負けたくなかった。決勝は第1ピリオドのスタートでポイントが取れてよかったが、試合内容には納得していない。運が良かった」と振り返った。



バックをとり、優勢に試合を進める岩間(撮影・庄司)



Bブロックを制した男子チーム

4年ぶり3回目 ブロック優勝

関東学生アーチェリーリーグ戦が3月29日から4月26日まで行われ、男子が5戦全勝で4年ぶり3回目となるブロック優勝を果たした。

各大学8人中上位6人の合計得点で争われた今大会。1部Bブロックの専大は初戦で前評判の高かった東海大を破ると、2戦目は上智大に38825-3565で完勝。3戦目は中央大を相手に最後までもつれる大接戦となったが、9点差で勝利した。続く日本工業大戦

も38900-3790で制すと、最終戦の東京理科大学大戦は序盤からリードし、38251-3571で勝利。優勝を決め、喜びを爆発させた。しかし、Aブロック優勝の日本大との優勝決定戦(5月10日、一橋大学)は、終盤に盛り返したが敗れ、関東の頂点には惜しくも届かなかった。今関東夫監督は選手をねぎらいつつ「まだ完全に力を出し切れていない。自分たちの一番の力を出すことが課題」と語

馬術・東都学生大会



▲ 華麗な手綱さばきを見せた秋山

東都学生馬術大会が4月10日から12日まで、JRA馬事公苑で行われ、団体総合で準優勝を果たした。新戦力にとって試金石となった今大会。団体総合で準優勝を果たした。新戦力にとって試金石となった今大会。団体総合で準優勝を果たした。新戦力にとって試金石となった今大会。

新人障害・楠本女子障害・秋山優勝

東都学生馬術大会が4月10日から12日まで、JRA馬事公苑で行われ、団体総合で準優勝を果たした。新戦力にとって試金石となった今大会。団体総合で準優勝を果たした。新戦力にとって試金石となった今大会。

優勝(個人)柳原大徳(商4・各務原西高) 準優勝(個人)小田原頌(経済4・麻布大附野辺高) 3位▽学生賞典馬場馬術競技(団体)準優勝▽標準障害(団体)準

東都大学野球春季リーグ戦(2部)

5季ぶりに優勝決める 8勝1敗1分と圧倒

6月6、7日に入替戦

東都大学野球春季リーグ戦(2部)で、専大は8勝1敗1分の圧倒的な強さで勝ち点4を挙げ、5季ぶりの優勝を決めた。5月14日に行われた首脳会議、秋月翼主将(経済4・佐久長聖高)の3点本塁打で先制すると、エース・湯本五十六(商4・藤代高)が完投し、6

1部復帰を目指し、6月6、7日(神宮球場、対戦校は未定)の入れ替え戦に臨む。開幕カード。1勝1敗で迎えた拓大との3回戦。森山誠(経営3・金沢高)、小牧卓央(経営4・鹿児島実高)の連続本塁打など11安打7得点。7-1で勝ち、勝ち点を7に伸ばした。これで波に乗り、続く日大戦に連勝した。首位攻防の東農大戦。

1回戦は山内裕詞(経済3・相洋高)の本塁打など、先発全員安打の16安打10得点と打線が爆発し、10-2で快勝。2回戦は、両校譲らず引き分けた。秋月主将は「チームの雰囲気が良い。ベンチやスタンドの応援も力になり、良い結果につながった。入れ替え戦も気を緩めずにいきたい」と話した。(庄司 亮介・文3)

投打のバランス絶妙 エース湯本6勝無敗 秋月中心に打線爆発

投打のバランス絶妙

つた。佐伯 っているので、あとは意識を高く持つことが必要だと思つて振り返った。6月の全日本学生主座決で3位だった。(高田有梨・文2 写真も)

東都大学野球春季リーグ戦(2部)で、専大は8勝1敗1分の圧倒的な強さで勝ち点4を挙げ、5季ぶりの優勝を決めた。5月14日に行われた首脳会議、秋月翼主将(経済4・佐久長聖高)の3点本塁打で先制すると、エース・湯本五十六(商4・藤代高)が完投し、6

3・昭和国际高)、落合智世(経済4・鈴峯女子高)を中心にシングルスで安定したプレーをみせ、明大、法大、日体大から勝ち星を挙げるも、早大、筑波大に惜しくも破れた。井上主将は「優勝を目指していたので悔しい。自分たち以上に相手の方がたくさん練習しているのだと痛感した」とコメントし、「今回の試合は

優勝(個人)柳原大徳(商4・各務原西高) 準優勝(個人)小田原頌(経済4・麻布大附野辺高) 3位▽学生賞典馬場馬術競技(団体)準優勝▽標準障害(団体)準

バドミントン・関東大学春季リーグ戦 3勝2敗の3位に 井上、田村、落合ら健闘



▲ シングルスで活躍した井上主将(撮影・庄司)

関東大学バドミントン春季リーグ戦が4月25日から5月4日まで、日体大米本記念体育館で行われ、専大は3勝2敗の3位で終えた。井上春奈主将(商4・早大)、筑波大に惜しくも破れた。井上主将は「優勝を目指していたので悔しい。自分たち以上に相手の方がたくさん練習しているのだと痛感した」とコメントし、「今回の試合は

優勝(個人)柳原大徳(商4・各務原西高) 準優勝(個人)小田原頌(経済4・麻布大附野辺高) 3位▽学生賞典馬場馬術競技(団体)準優勝▽標準障害(団体)準